

様式3 【物・文化財・風景など実体のあるもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可・ 否)

区 分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 天然記念物	(ふりがな) てんねんきねんぶつ	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	石伏旧若宮八幡神社の大クリ (いしぶしきゅうわかみやちまんじんじゃのおおくり)		
伝承地域	只見町大字石伏字後山 284-18		
由来 (年代)	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) クリの木は全国どこにでも生育しており、実は縄文時代人の主要な食物でもあった。		
内 容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) クリは、ブナ科クリ属の落葉高木で、日本と朝鮮半島南部が原産。わが国では、北海道西南部から九州まで全国に植生している。 石伏旧若宮八幡神社の大クリは、石伏集落の鎮守、旧若宮八幡神社境内裏の山の斜面に生育する巨樹で国内最大級。林床はユキツバキが多い、ヒメアオキ、ケアブラチャンなども生育している。当神社は昭和59年、ダム建設のため移転したが、境内地にはオオヤマザクラ (幹周 3.9m) の巨木もある。		
大きさ・材質	(大きさ: 緑の文化財、巨木、建造物などスケールが情報として有用なもの) 幹周 7.5m、樹高 18m	(材質) クリ	
見 頃	(緑の文化財、巨木など特定の時期に見頃が訪れるもの。) 入梅前 (6月上、中旬頃)		
交通アクセス	JR只見駅から国道252号線を小出方面へ車で5分、入口から徒歩10分		
文化財等の指定状況	平成14年只見町天然記念物指定		
問い合わせ先	只見町教育委員会	電話0241-82-5320	

【フリーフォーマット】

キーワード

<石伏旧若宮八幡神社の大クリ>



(只見町教育委員会)